

制服について考える週間
1/30~2/10

めのたん通信 2月号

約 100 年前から
変わってない箕高のセーラー服



こちらの写真は、箕島高校の前身である箕島高等家政女学校の昭和5年の卒業アルバムです。2本の白線が襟と袖に入り、今の制服とほぼ変わりませんね。実際の写真は図書館でも見られるよ！



図書館で制服を 考えてみた



やはり…私服派優勢!?

図書館で独自調査していた「制服派？私服派？」アンケート。「考える週間」が始まった当初は制服派優勢でしたが、1週間たち私服派が制服派を引き離しています！「体操服派」も欲しいとの声も！確かに体操服姿もよく見かけましたね(^^)／



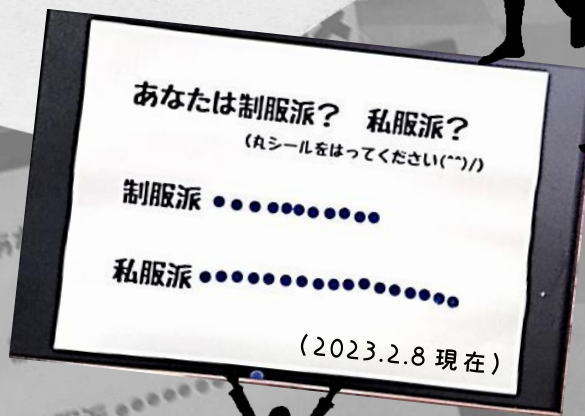
先輩が後輩のために セーラー服を仕立てる伝統行事!?

こんな本も



『セーラー服の誕生』刑部芳則/著

大正時代から昭和初期にかけて、日本全国でセーラー服が着られるようになり、当時は高価だったセーラー服を先輩が後輩のために縫うという伝統があったそうです。和歌山県のセーラー服の歴史も分かる興味深い1冊。箕島高校の情報も載っています。



図書館の

インスタグラム

はじめました

DM、投稿へのコメントは
受付していません(>_<)

図書館からの情報発信やお知らせはもちろん、図書館から見た箕高や箕高生の魅力も伝えられたらいいなと思います。



フォローしてね